

高校入試生徒募集イベント

このところオミクロン株「BA.5」への感染が急激に増加し、「感染者数が1週間前の2倍」という日が多く、「第7波」という認識になっているようです。しかしながら、現在のところ「行動制限」はなく、「新型コロナ第7波対策 政府分科会緊急提言案」でも「行動制限」はとりあえず盛り込まれないとのことでした。



3年ぶりの「行動制限のない夏」を迎え、大規模な「高校入試生徒募集イベント」も3年ぶりに本格的に行われます。例えば、7月18日(月・海の日)の「神奈川全私学展」(パシフィコ横浜)です。コロナ前には3万人の中学生と保護者が来訪するイベントでした。さすがに、「人数制限」をしての開催となりますが、やはり「開催する」ことは意義があるのです。また、8月の「公私協調事業 神奈川の高校展」も3年ぶりの開催です。公立高校側は参加を渋ったようですが、私学の熱意に押されて開催することになりました(6月の「全公立展」は中止)。このイベントは、県下12の地区会場で、私立高校と公立高校が合同で生徒募集説明会を開催するもので、藤嶺藤沢は3会場に参加する予定となっています。

男子校・共学校を「風呂」に例えて説明することがあります。男子校は、「男風呂」だから「裸」になる、すなわち「素の自分」を見せられるのです。共学は、「スパ」なので、水着を着用しなければならない、すなわち、「素の自分」は見せられないというのです。男子校は、(良くも悪くも)女性の視線を意識する必要がなく、遠慮なく自分の個性を発揮することができ、「自己表現」の術を身につけ、それが自信につながっていくのです。

もちろん「共学の良さ」もあるでしょうけれど、男子校の素晴らしさ、また、遊行寺境内にある仏教校であり、生徒全員が茶道を学ぶ学校であり、生徒は進学意識が高く、素直で何事にも真面目に取り組む姿勢を持っていて、建学の精神である「勇猛精進 質実剛健」を心に掲げて学校生活を送っていることを宣伝してきたいと思っています。生徒の皆さんも機会があれば後輩中学生に藤嶺藤沢の素晴らしさを伝えてくれるとありがたいです。

【盆踊りと踊り念仏】 『季刊遊行』 お盆号より(第220号/令和4年7月1日発行)

「盆踊り」の起源は、時宗の「踊り念仏」とも言われております。

踊り念仏は、平安時代の念仏僧空也上人によって始められました。空也上人は南無阿弥陀仏と口で称える「称名念仏」を日本において初めて実践し、日本における浄土教、念仏信仰の先駆者として、市聖や阿弥陀聖などと呼ばれ、宗祖一遍上人が尊敬し先達と仰いだ人物です。

一遍上人は、踊り念仏と賦算(お札配り)をもって全国を遊行して広く布教をしました。当時絶大な人気があった踊り念仏は、法悦歓喜(念仏を称えながら踊ることで阿弥陀仏に救われるという喜び)のあまり皆自然に体が踊り始めたそうです。

その後各地に広まった踊り念仏は、盂蘭盆会の行事と結びつき、お盆に帰ってくる先祖を迎え、供養する仏事になっていきました。その頃から踊り手の衣装は、頬被りをして人相を隠すことで、先祖の生き返った姿を扮するようになりました。

例えば、日本の三大盆踊りとして有名な秋田西馬音内の盆踊りでも、死者を表現するために、目だけを露出し顔がほぼ見えないような頭巾を着けて、踊っている姿が印象的です。

室町時代に入ると踊り念仏は風流踊りとして催され、人々が踊るための要素がさらに多く取り入れられました。今では、全国各地において様々な形式の盆踊りが広まり、それぞれ特徴的な衣装で囃子や太鼓などの演奏とともに、誰もが気軽に参加できる賑やかで楽しい行事になっています。

【7月・8月の主な行事予定】

7月	19	火	学級 PTA 個人面談(21 木 / 22 金 / 23 土)
	20	水	第1学期終業式 / 防災訓練
	26	火	前期夏期講習(～ 30 土)
8月	1	月	オーストラリアケアンズ語学研修旅行(～ 8/13 土)
	4	木	高3 第2回全統共通テスト模試
	9	火	高1・2 希望者 勉強合宿(～ 12 金)
	17	水	登校日
	18	木	後期夏期講習(19 金 / 20 土 / 22 月 / 23 火)
	18	木	高校入試イベント 夏休み見学会(20 土)
	27	土	高3 希望者 GTEC → 希望者がいませんで実施しません。
	27	土	高校入試イベント 部活動見学会(9/3 土)
	29	月	第2学期始業式 / 防災訓練 / 2限から平常授業
31	水	高1・2 スタディサポート	